

セメスター留学を 通して成長する

国際交流センター長

数田 由子

本学では、1学期(半年間)もしくは2学期(1年間)を海外の教育機関で学び、その単位を本学の単位として認定するセメスター留学制度を設けています。この制度により、遅れることなく卒業することができます。留学先は、韓国は姉妹校のハニヤン女子大学、英語圏はオーストラリア、アメリカ、カナダへの留学実績があります。

長期間海外で生活し、ホームシックやコミュニケーションで悩んだりするようですが、提携校のスタッフやホストファミリーに助けられ、学生はひと回りもふた回りも大きくなって帰国します。留学中に身についた積極性や広い視野、柔軟性は、就職活動や社会人生活でも生かされています。留学期間中は本学の学費を減免するなどの支援とともに、国際交流センターでは渡航前の研修にも力をいれて学生をサポートしています。

オーストラリアで 生活して

国際コミュニケーション科

2年 長島 香奈

Bond University English Language Institute(通称BUELI)

は、大学内にある語学学校。私はリーディング、ライティング、英会話習得を目的としたコースを選択し、世界中から来た学生と一緒に学びました。

英会話力を磨き、現地の文化を知ることができたホームステイ。ホストマザーは、私を娘のように大変かわいがってくれました。またカナダ人学生とのシェアハウスでは、互いの文化の交



流を大いに楽しむことができました。

この留学生活を通じて学んだことは、自分の意見を持ち、発言することの大切さ。いろいろな場面で自分の意見を求められることで、次第に外国人にも物怖じせずに意見が言えるようになりました。

この経験は私の人生の中で最大の財産。お世話になった先生や両親には本当に感謝しています。(2013年9月から2014年1月までBUELIに留学)

セメスター留学での 努力と自信

国際コミュニケーション科

2年 堀込 紗希

留学して一番成長したことは韓国語の語学力。半年間勉強し、生活に困らないくらいに語学力が身に付きました。宿題に気が滅入ることもありましたが、努力の分だけ実力がつくことを実感しました。ちょっとした会話や韓国のテレビ番組を字幕なしで楽しめるようになった「うれしい」という気持ちも、さらに勉強へとつながったように思います。また、先生のお手伝いや学生のサポートをした日本語ビジネスや日本語翻訳の授業で韓国の学生の姿勢や意識の高さを知ったことも、刺激になりました。

短大2年になり本格化してき



た就活では留学で身についた自信と行動力を活かしていきたいと思えます。これからの人生でも、この経験を糧にしているいろいろなことに挑戦し突き進んでいけるような気がします。

韓国での半年はかけがえのない時間でした。辛いこともありましたが、支えてくれた友人、韓国で出会った人すべてに感謝しています。留学は私を人として大きく成長させてくれました。(2013年9月から2014年2月まで漢陽女子大へ留学)

ハワイでの経験から

人間学部 3年 飯塚 郁佳

英語は得意ではありませんが、日常会話を学びたいと思い、留学を決めました。

留学生活は毎日が充実。現地の学校には母国語禁止というルールがあり、その中で会話重視の授業やプレゼンテーション、テスト、アクティビティー等様々なことを経験しました。また、ホームステイ、寮、一人暮らしを体験したことで、英語漬けの日々や一人暮らしの大変さを実感し、苦勞した分、少しずつ話せる英語が増えていくことが喜びとなりました。

大事なことは自分から積極的に行動すること。間違っても言葉にすることで積極性も身につく、同時に英語も上達。留学して本当に良かったと思っています。(2013年8月から12月までGlobal Village Hawaiiへ留学)

